



通信

2021. 1. 13 第 130 号

公益社団法人 福島原発行動隊

東京都千代田区神田淡路町1-21-7

静和ビル 1階A室 〒101-0063

Tel: 03-3255-5910 Fax: 03-3525-4811

Mail: svcf-admin@svcf.jp Web: http://svcf.jp

【第98回院内集会】

2020年12月の院内集会は、「『福島復興策、廃炉事業の進展』に関する各党の方針/判断」シリーズの1回目で、立憲民主党の山崎誠議員（衆議院東日本大震災復興特別委員会、同経済産業委員会）を講師に迎えて以下のように開催しました。年末にかけて首都圏はコロナ再炎上となっていたため、オンライン集会（zoom）を並行して行いました。

●日時: 12月17日(木) 11~13時

●会場: 参議院議員会館 B103 会議室

●テーマ: 立憲民主党の方針/判断

・「コロナ」で大幅な景気後退/行動規制

が強いられているなかで、福島県の「復興計画」(第3次 2015年12月25日)

を遂行する上でどのような補強の手立てが必要か。

・さまざまな問題に逢着して前途が定かではない廃炉作業の現況

をどう判断し、そのゴールをどのような状態と考えるか。

・汚染水(ALPS 処理水)の最終処分はどのように行われるべきか。

・福島原発行動隊が 東日本大震災/原発事故直後に発足して以来主張してきた「退役技術者・技能者を中心とする行動隊員が、長年培った経験と能力を活用し原発事故の収束作業に当たる」ことを、どのように考えられるか。



山崎議員は、2020年12月14日に自ら撮影された大熊町中間貯蔵施設の写真などをふくむ29ページのスライド資料(「東電福島第一原発事故のいまと今後の日本のエネルギー政策を考える」 <https://47.gigafile.nu/1223-c2bab20fcb90ec6539fafa716da4e9049>)

をもとに、「除染事業」、「ALPS 処理水」、「原発ゼロ基本法案」、「原発廃炉の議論」の順に丁寧な説明が行われた。上記の「テーマ」についての質問に対する答えで、以下のように述べられました。

・(廃炉作業の現況) 決して上手くいっているとは言えない。

この10年で何処まで進んできたかについての検証を、かつての国会事故調査委員会のようなところでおこなうべきだ。

・(一部に「石棺方式しかない」とも言われている廃炉のゴールは)現時点で明確にすることは難しい。

・(ALPS 処理水の最終処分)「(ALPS 処理水に残る)トリチウムは危険ではない」とされているのが本当には正しいのかということもあり、現時点で「海洋放出しかない」と決めつけずに、他の方策がないかもっと検討すべきである。

この質疑に関連して、online 参加者から山崎議員に対して 次のような要望が寄せられました。

「廃炉のゴールを『2011年から40年後(2051年)までに第一原発敷地を更地にして返還する』とされているが、この『ゴール』の時期と形に拘泥することから、汚染水(ALPS 処理水)の海洋放出を急ぐといったことにもなろうとしている。ゴールについての考え方を改めることも検討していただきたい」

コロナ下の立入り検査 寒かったあ！

安藤 博

3年に一度とされている公益法人を監督する内閣府の立入り検査が、年明け間もない6日にありました。安藤、杉

山の両理事と監事の井出龍一郎さんがこの日朝9時ころから事務所に来て担当官の来所に備えました。万が一にも行動隊事務所に行ってコロナに感染したということになっては申し訳ないので、先ず前日自宅近くの量販店で仕入れて

きた遮蔽スクリーンを事務所テーブルに立てます。次いで、入りロドアも含め事務所の四方の窓を開けて換気に万全を期します。

検査は、10時から昼食時の休みをはさんで午後2時過ぎまで。団体活動の現状説明に始まり、総会や理事会等の議事録、会計帳簿等の備え、さらに団体公印の保管状況チェックに至るまで、淡々と進められました。

寒い日でした。文書の記述不備や決算書等の数字への疑問や指摘もさることながら、窓を開けた部屋の寒さがひとしお堪えました。



「コロナ下の正月」について、6人の方からご寄稿いただきました。昨年末、大晦日の日にご寄稿をお願いした時には、日本の感染者が一日で4,500人余になったのをテレビで一大事のように報じていましたが、それから10日しか経ずに感染者の増加は日に約8,000人に。年が改まって、コロナと共存せざるを得ません。

丑の背に コロナも乗って 初詣

安藤 博

会話

茨城県笠間市 高橋 濟

昨年の12月の半ば、6ヶ月ぶりに隣町の妹を訪ねた。コロナの作法にしたがい、私は庭先で、妹はベランダで、たがいにマスクをし2m離れての会話。

「旦那どうしてる？」

(以下、妹がまくしたてる)

「それが大変よ、1ヶ月前にコロナの濃厚接触者として2週間の自宅隔離にあったのよ」

「PCRで問題はなく、無症状だったが、保健所は厳しかったわよ」

「あたしもPCR検査をして、とお願いしたって、あなたは関係ないって、やってくれないのよ」

「80歳過ぎた斜向かいの〇〇さん(私も知っている人)夫婦が中央病院(わが市内の県立病院)に入院して、まだ退院しないのよ」

「持病があったから心配だわ」で、「旦那は今どうしてる」

「あれ以来、1ヶ月過ぎたって、部屋から出ないわよ」

その旦那、暮れに我が家に来た。運転席の義弟に(もちろんコロナ作法にしたがい)

「酷い目に遭ったな。カラオケはだめだ、もっとも危ないからな」

「もう、こりごりだよ」

昨年、市内で最初の感染者が出たとき、私の向かいの古希を過ぎた現役の看護師さんが「私が一番じゃなくてよかったわ」と話し、妙に安堵していたのを思い出す。感染者が出た場合、市はメール配信していたが、何故かそれを止めるとの配信があった。感染者が多くなり、疑心暗鬼を避けるためか。不気味だ。

わが町内からは、まだ感染者は出ていないが、ひしひしと身近に迫っている気がする。

明けて新年、ご近所も今年の帰省の孫はなく、道路でのいつもの歓声が聞こえない。みんな息をこらしている。感染者の一番にはなりたくないとの思いか。

【静かさや緊張つづくコロナ・ゼロ】

明けましておめでとうございます

静岡県下田市 中島賢一郎

新春元旦は孫No.1 たちと狩野川河原での砂金掘りならぬバツタの卵探しで始めました。一攫千金（卵）はか



なわず前途多難か（し）。昨年は突発性難聴、ぎっくり腰と、おっ老化か！と思わせる一年でしたが、めげずに福島第一原発の事故収束をウォッチする福島第一原発 Watcher 執筆、市営日帰り温泉の番台 etc. を楽しんでいきます。

有意義な年末年始

千葉県白井市 山田次郎

この年末年始はすこぶる有意義な事をしました。

師走から料理に挑戦し、豆板醤を使って麻婆豆腐、ブリ大根、冷凍生地を使用したアップルパイと柚子パイ。何れも複数回やることでかなり身についた次第です。もっとも麻婆豆腐を週3回食べていた嫁はんが以前からの逆流性食道炎が治らず、医者にもその事を話したら「刺激性のある麻婆豆腐を週3回はやめた方が良いでしょう」と言われて、修行中断！

ところで、元日に何か甘い物をと考えてアップルパイを焼いたのですが、本当はそこで柚子パイを焼こうと思ったら娘と嫁はんは強硬に反対されて、やむなくアップルパイを焼いて孫達にもおやつにした次第。

当然美味しいのですが、どうしても諦めきれず娘と孫が帰った後に柚子パイを焼きました。おやつに今日も食べましたが、なかなかいけます！

言うなれば和風味のパイですね。因みに柚子は弟宅から大量にもらった柚子の皮をマーマレードにしたものを使用。農薬皆無の柚子パイでした！

コロナ下に思うこと

川崎市 牛島千寿子

私は普段、教育業界に身を置いています。学校にしる塾にしる、生徒の手元はもとより表情や纏っている空気感なども見て話をすることは大事だと考えているので、画面の向こう側の“オンライン授業”なるものの不成立さ加減については言いたくもないほどです。ですが、人が行き来できないような事態では文句も言ってもらえませんから、なんとかして対応せねばなりません。そして思い出しました。目に見えないウィルスとの闘い・・・

「似ている」かもしれません。福島は原発事故による放射線の影響で休校を余儀なくされていた時期もありました。あの時の子どもたちの学習の遅れがどうだったのかわかりませんが、当時、ほとんど話題に上ることはありませんでした。コロナ禍では首都圏や全国の都市を中心に、休校の影響が取り沙汰されています。都市部で影響が大きいことで、ようやく当事者意識が芽生えるというか、話題にするというか。つまりは「当事者にならないとわからない」ということでしょうか。世界的にみても、コロナ禍では先進諸国のほうがダメージが大きいような感じがします。コロナによって先進諸国や都市部が直面した様々な問題は、これまで声を上げてもらって来なかった地方や地域、小国などに当事者意識を持って思いを馳せることを教えてくれているのかもしれない。（2021年1月4日時点では、コロナ第三波につき緊急事態宣言を発令したとしても、小中学校の休業要請はしない方針の様相です。）

コロナ禍で農家が悲鳴！

藤沢市 杉山隆保

神奈川県三浦市の農家がコロナ禍で悲鳴を上げている。大手のスーパーや学校給食業者などにブランドの三浦大根をこれまで届けてきたがコロナ禍で大根が売れない状況となり農協前に山積みとなっています。これまでは傷が付いたなどで売れない大根は細かく粉碎して畑で肥やしとして利用してきました。しかし、今回は量が多すぎて処分するにもどう処理したら良いのかと思案投げ首状態と言う。

このことがパートナーと間で話題になり、私が「大根おろしにして冷凍保存したら」と言ったら、パートナーに「馬鹿言ってんじゃないよ！これだけの量を大根おろしに出来る場所も機械も、冷凍する場所もない。当事者の気持ち分らないさ過ぎる」と怒られました。

私は「いいたて雪っ娘」(カボチャ)を収穫した後、畑の片隅で三浦大根を100本ほど栽培しています。私の場合には収益目的の畑仕事ではありません。畑はアウトドア生活を楽しむ場所で週に3日ほど居ます。耕作放棄地を無料でお借りしています。

近所には本職の農家さんが多くて配ることはできません。私の方が日常的に作物を頂いていますので…。

そこで多くは知人、友人に差し上げています。JR中野駅構内で大根を友人に渡したこともあります。余りにも残りの量が多い時には母を看取ってくれたグループホームに届けています。

「オラは大丈夫だ」というところでしょうか。

三浦の農家のみなさん、スママセン。

Half Chance

川崎市 岡山文人

これはあるパロディ・ソングの歌詞に使われているフレーズである。今年はコロナの影響なのかポッドキャスト番組の年末休暇が多く、持て余した時間で古いCDを聴き直していたらこのフレーズが何時間も耳の中で響き続けてしまった。歌詞といっても、大学の卒業式で学生に向けたスピーチに伴奏がついたようなものだ。歌詞の中で Half Chance は「人生は長い。(あなたが誰かより)うまく行く

ときもあるし、そうでないときもある。でもそんなことは半分偶然だ(あなたのせいじゃない)、他の誰にとっても

(半分偶然なのは)同じことだ…」といった流れに使われていた。この「歌」はYouTubeにも載っている

(<https://www.viewpure.com/5giWfpANMac> このアドレスはYouTubeを雑物なしで表示してくれる。)

ところで歌詞が半分偶然だと教えていても、偶然がぴったり50%という意味ではない。もっと大雑把に偶然が「たくさん」混ざっていると理解するべきだろう。「たくさんなら半分より多いではないか」という人がいるかもしれない。しかし問題は、半分より多いか少ないかではなく、ピッタリか、多いか、少ないか、と決めつけたくなる心情だ。曖昧なままでは話が面倒になってしまうと思い込んでる。

確かに面倒になるのだが、それはただの思い込みではなく、人間は右か左かを無理やり決めつけることで脳の消費エネルギーを節約するように進化してきたためらしい <http://midorikanagawa.net/2020/07/26/post-374/>。中途半端な状態や大雑把な偶然をそのまま正しく理解するにはできていないようだ。そうすると逆らってみたくなる。進化の現世代としてはエネルギーを少々多めに消費して正確な理解に馴れるように自分を訓練しつつ、あとの世代がその方向へ進化するように仕向けてみたい。

言葉の進化は人の進化より速い。今の「半」は「ちょうど半分」の意味にも「大雑把にたくさん」の意味にも使えるから不正確が生じたが、大雑把だけを意味する単語が生まれて歌詞にも使えるようになればシメたものだ。

////////////////////////////////////

【行動隊1-2月スケジュール】

- ・院内集会 1/28(木曜日)、2/18(木曜日)
- ・連絡会議 以下の各金曜日 10:30-
1/15、22、29 2/5、12、19、26
- ・2月号『SVCF 通信』
2/17(水曜日)発行

